

(不特定多数の者を対象とする研修[第1号研修及び第2号研修])

**実地研修評価票(指導者用) : 喀痰吸引 口腔内・鼻腔内吸引(通常手順)**

あなたが指導している介護職員は下記の業務内容について、どの程度達成できているか該当する番号を記入してください。

※業務内容については、手引きの留意事項・考えられる主なリスクを参照のこと

①記入方法について  
PCではなく、手書きで記入ください。

評価判定基準	ア 評価項目について手順どおり実施できている。
	イ 評価項目について手順を抜かしたり、間違えたりした。(実施後に指導した。)
	ウ 評価項目について手順を抜かしたり、間違えたりした。(見過ごせないレベルであり、その場で指導し
	エ 1人での実施を任せられるレベルにはない。

実地研修施設・事業所名	
研修受講者名	

回数 ※( )内に実地研修の実施回数を記入すること。		( )回目	( )回目	( )回目	( )回目	( )回目	( )回目	
月日 ※実地研修を実施した月日を記入すること。								
時間 ※実地研修を実施した時刻を記入すること。								
ケア実施対象者(別紙参照)								
実施手順	評価項目	評価結果	評価結果					
準備	1 医師の指示等の確認を行う							
	2 手洗いをを行う							
	3 必要物品をそろえ、作動状況等を点検確認する							
	4 必要物品を実地研修協力者のもとの運ぶ							
実施	5 実地研修協力者に吸引の説明をする	ア						
	6 吸引の環境・実地研修協力者の姿勢を整える	ア						
	7 口腔内・鼻腔内を観察する	ア						
	8 手袋の着用またはセッソを持つ	ア						
	9 吸引チューブを清潔に取り出す	ア						
	10 吸引チューブを清潔に吸引器と連結管で連結する	ア						
	11 (浸漬法の場合) 吸引チューブ外側を清浄綿等で拭く	ア						
	12 吸引器の電源を入れて水を吸い決められた吸引圧になることを確認する	ア						
	13 吸引チューブの先端の水をよく切る	ア						
	14 実地研修協力者に吸引開始について声かけを行う	ア						
	15 適切な吸引圧で適切な深さまで吸引チューブを挿入する	ア						
	16 適切な吸引時間で分泌物等の貯留物を吸引する	ア						
	17 吸引チューブを静かに抜く	ア						
	18 吸引チューブの外側を清浄綿等で拭く	ア						
	19 洗浄水を吸引し、吸引チューブ内側の汚れを落とす	ア						
	20 吸引器の電源を切る	ア						
	21 吸引チューブを連結管から外し保管容器に戻す	イ						
	22 手袋をはずす(手袋を使用している場合)またはセッソを戻す	ア						
	23 実地研修協力者に吸引終了の声かけを行い、姿勢を整える	ア						
	24 吸引物及び実地研修協力者の状態を観察する	ア						
	25 実地研修協力者の吸引前の状態と吸引後の状態変化を観察する	ア						
	26 吸引後に経鼻経管栄養チューブが口腔内に出てきていないかを観察する(経鼻経管栄養実施者のみ)							
	27 手洗いをする	ア						
	報告	28 吸引物及び実地研修協力者の状態を報告する	ア					
		29 吸引後に経鼻経管栄養チューブが口腔内に出てきていないことを報告する(経鼻経管栄養実施者のみ)	ア					
		30 ヒヤリハット・アクシデントの報告をする(該当する場合のみ)						
	片付け	31 吸引びんの排液量が70%~80%になる前に排液を捨てる	ア					
32 使用物品を速やかに後片付けまたは交換する		ア						
記録	33 実施記録を記載する	ア						
アの個数 計		30						
指導看護師名		鳥取						

②同時に口腔内・鼻腔内を実施することは評価の対象としません。また、同時に2人を実施しても評価の対象としません。

③ケア実施対象者については、名字を記載するか、番号を記入し、別添一覧表を添付してください。同姓の対象者がおられる場合は、姓だけでなく名前の一文字目を記載するなど、対象者を区別できるようにしてください。

④修正箇所は二重線に指導看護師の訂正印を押印ください。

⑤該当がない場合、斜線を記入ください。

⑥ヒヤリハット・アクシデントの報告については、該当があった場合に記入してください。該当がなかった場合は、斜線を記入ください。

※指導内容を具体的に記述してください。(手引きの留意事項・考えられる主なリスク等に記載されている細目レベルで記述)

( 1 )回目	吸引台、汚れを落とした後の吸引チューブを不潔な手袋で触れたため指導した。
( )回目	
( )回目	
( )回目	評価対象外がある場合:(例)No. 11 自施設では乾燥法によるチューブ保管方法のため評価対象としない。No. 30 1~5回目該当なし。
( )回目	